

# 平成15年度第2回熊本県環境影響評価審査会 議事概要

日時：平成15年7月3日(木)午前10時～午前11時

場所：熊本テルサ2階「研修室CD」

## 出席者

熊本県環境影響評価審査会：今江会長、内山委員、江端委員、木田委員、古賀委員、  
西岡委員、林委員、弘田委員、藤木委員、吉田委員

事務局：熊本県環境生活部環境政策課職員（村山課長補佐、宮崎主幹、坂本主幹、  
小澤参事、藤山主任主事）

アセス実施者等：熊本県土木部都市計画課（古賀主幹、江口主任技師）  
西合志町都市計画課（建岡課長補佐、後藤主事）  
コンサルタント（2人）

## 議題

「(仮称)御代志地区土地区画整理事業」環境影響評価方法書について

## 議事概要

- 1 事業及びアセスの概要について  
審査会事務局（環境政策課）から、事業概要の説明並びに環境影響評価法に基づくこれまでの手続きの経過及び今後の手続きの流れについて説明が行われた。
- 2 アセス審査会意見（案）について  
「(仮称)御代志地区土地区画整理事業に係る環境影響評価方法書」に関する熊本県環境影響評価審査会意見（案）に基づき審議が行われた結果、意見（案）のとおり、審査会意見とすることとされた。  
各委員の主な意見等は別紙のとおり。

## 傍聴者

なし

## 配布資料

- 1 「(仮称)御代志地区土地区画整理事業」に関する環境影響評価手続き等について
- 2 「(仮称)御代志地区土地区画整理事業に係る環境影響評価方法書」に関する熊本県環境影響評価審査会意見（案）

(別紙)  
審査会委員の主な意見等

[ 全般的事項 ]

【委員発言 1】

事業計画地内だけでなく、事業計画地周辺の環境も一体につながったものとして見ていただく、そのような考え方をしてほしい。

[ 水環境 ]

< 水象・水質 >

【委員発言 2】

事業実施区域内の下水道は、既に整備されているのか。

【事業者発言：西合志町 建岡課長補佐】

整備中である。

【委員発言 3】

工事中の雨水排水はどうするのか。

【事業者発言：西合志町 建岡課長補佐】

雨水管については、近日中に、この地域まで接続される。

< 地下水 >

【委員発言 4】

地下水への対策は、よく確かめながら、慌てずに進めていただきたい。

[ 動物・植物・生態系 ]

< 動物・植物 >

【委員発言 5】

希少動植物が発見された場合、関係機関や専門家に助言を受けるとあるので、文章を修正する必要まではないが、事業計画地にはゼフィルス、いわゆるアカシジミ、ミズイロオナガシジミがいると思われるので、対策をお願いする。

< 生態系 >

【委員発言 6】

土木工学で言う「いい土」と農業者が言う「いい土」は違う。農業者が言う「いい土」が、植物が良く育つ「生きている土」と言える。環境で言う「いい土」は、農業者が言う「いい土」である。グラウンドなどの表土とするときは「生きている土」である必要はない。二つを区別して考えていただきたい。

[ 人と自然との触れ合いの活動の場 ]

【委員発言 7】

予定区域内だけではなく、周辺も含めて考えてほしい。定性的に判断するために必要なポイントは範囲を少し広げてでも見ていただきたい。

[ 光害 ]

【委員発言 8】

「光」は、様々なところに影響を及ぼす。まず、光にひかれる虫が集まる状況を引き起こす。また、昼と夜の長さで四季の変化を知る動植物の判断をくるわせることもある。

【委員発言 9】

「天体観測」という表現があるが、これでは、実際に望遠鏡を持った人たちのみを指すように受けとってしまう。一般の人たちも星空を楽しむというニュアンスをもたせるような表現の仕方を考えていただきたい。

【事務局発言】

先日行われた6月議会において、環境生活部長が答弁した「天体観測や星空観賞」という表現に代えさせていただきたい。